

アジア植物遺伝資源の収集・特性解析(PGRAsia) シンポジウム（第3回）のご案内

農研機構（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）遺伝資源センターは、平成 26 年度から農林水産省の「海外植物遺伝資源の収集・提供強化」プロジェクトを受託しています。本プロジェクトでは、**アジア 5 カ国**（ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー、ネパール）のジーンバンク等と農研機構を中心とする研究チームが連携して野菜を中心とする**植物遺伝資源の特性評価と探索収集**を共同で行い、植物遺伝資源の利用促進に取り組んでいます。

本シンポジウムでは、プロジェクト概要説明と成果発表、さらに植物遺伝資源関連分野の講演を行います。併せて、プロジェクトの今後の活動にご参集頂いた皆様からのご希望を反映させるため、意見交換会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちいたしております。

1. **主催**：農研機構 遺伝資源センター
2. **日時**：平成 28 年 7 月 12 日(火) 15:00～18:00 （14:30 受付開始）
3. **場所**：ヒューリックカンファレンス ROOM1（100 席）ヒューリック浅草橋ビル 3 階
(URL: <http://www.hulic-hall.com/>, 東京都台東区浅草橋 1-22-16)

4. プログラム

1) PGRAsia プロジェクトの概要と成果

- PGRAsia プロジェクトの概要：根本博（農研機構 遺伝資源センター長）
- 平成 27 年度の成果（15:20～16:20） 座長： 根本博
 - ・ 野菜の特性解析 川頭洋一（農研機構 野菜花き研究部門）
 - ・ 穀物の特性解析 江花薫子（農研機構 遺伝資源センター）
 - ・ 海外植物遺伝資源探索 友岡憲彦（農研機構 遺伝資源センター）

2) 講演会 座長：友岡憲彦

- 南アジア・東南アジアにおけるウリ科作物遺伝資源の収集とメロン遺伝資源の多様性 田中克典（弘前大学）
- 生物多様性条約体制の下での共同研究契約と植物遺伝資源探索・収集・移転に際しての留意点 磯崎博司（上智大学）

5. 参加費：無料

6. 参加申込方法：以下の事項をご記入の上、PGRAsia 事務局までメール等でご連絡ください。

①氏名（ふりがな）、②所属（団体・組織名）、③役職、④連絡先（メールアドレス等）、⑤関心のあ
る海外植物遺伝資源（国・植物種・特性）、⑥その他（ご質問・ご要望等）

7. 参加申込締切：平成 28 年 7 月 1 日(金)

※席に余裕があれば当日参加も受付けますので、お問い合わせください。

○お問い合わせ、参加申込先：

農研機構 遺伝資源センター PGRAsia 事務局（担当 奥泉、メイヤーズ、野中）

メール：office-PGRAsia@gene.affrc.go.jp 電話：029-838-7458 Fax：029-838-7408